

【新聞記事から】

朝日新聞5月31日の記事に、学校で子どもが使う教材について、その費用と使用の実態についてのものがありました。「算数セット・・・もったいない」という言葉を見たとき、なるほどと思いました。桐光学園小学校でも新入生に毎年この算数セットを購入してもらっています。ただ、その中身については学校で使用しないものについては一部除外しており、それは代金にも反映されています。しかし、今年は「上の子が使っていたのがあるので購入しなくてよいでしょうか」との問い合わせもありました。もっともなことだと思います。

私がこの記事を読んで感じたことは、算数セットをはじめとする教材の購入と使い方についてのことだけでなく、毎日教育の現場にいながら、保護者の意見を新聞を通して知るということでした。保護者の皆様からはいろいろなことを学校の判断にお任せいただいていることは大変ありがたいと思いますが、もしかしたら皆さんのお考えを受け止める姿勢に欠けているのではないかという気持ちになりました。

【夢をもつこと】

七夕の短冊に書いた子どもたちの願いごと。

夢があるっていいですね。子どものみならず将来の夢に向かって努力できるというのはとてもよいことです。さて、皆さんのお子さんは短冊にどんな夢を書いたかご存知ですか。

電車の運転手さんになりたいという夢を持っている子は、きっと本で電車のことを調べ、電車に乗っているいろいろな所に行くことがすきなのだと思います。ケーキ屋さんになりたい子は、ケーキの種類だけでなく、どんな材料でケーキを作ると美味しいか、身体にいいかなどを学ぶでしょう。夢が叶うかどうかは別にして、夢に向かって何か行動を起こしてみるということに価値があります。

夢が叶うと信じ、夢を叶えるために努力できる今、子どもたちを成長させるためには、夢のある毎日の生活が欠かせません。

このようなことからこの小学校の子どもたちには好きなこと、やってみたいことをたくさんつくってほしいです。

【土曜講習】

土曜日に行われている4～6年生の講習はとても欠席者が少ないです。今年度、私は5年生と6年生の算数を担当していますが、どちらも非常によい取り組みが見られます。

土曜講習では、普段の授業とは違ったカリキュラムで学習を進めています。少し難しい問題に挑戦することが多いのですが、子どもたちが課題に向き合い、真剣に考えることができるのはとてもいいものです。普段の授業時間より20分多く時間をとっていますが、その60分間もあっという間に過ぎてしまいます。

算数の講習では、自分の判断でクラスを決めてよいことになっています。5年生では、最初の何回かは、クラスを決めるときに、友だちの存在が大きな決定要素になっている傾向がありましたが、最近ではようやく自分の力に合ったクラスで学習することを優先できるようになってきたようです。これから、その傾向はますます強まると思います。

子どもたち一人ひとりが土曜講習の場で、一つでも得るものが増えるよう私たちも気持ちを引き締めて指導していきます。

【新型インフルエンザの予防を心がけましょう】

このところテレビや新聞であまり取り上げられなくなっている新型インフルエンザですが、横浜、川崎両市でも感染者は増えてきているのが現状です。桐光学園に比較的近い学校や幼稚園でも、学年または学級閉鎖や休園となっているところがあります。7月14日現在で、神奈川県内の感染者は累計で359名になったことが新聞に書かれていました。これから夏休みに入ると、これまで以上に人々の行動範囲が広がりますので、一層の注意を払う必要があります。手洗い、うがいを頻繁に行い予防に努めましょう。

・・・農園で・・・

前回のたよりでも農園活動の様子をお伝えしましたが、今回も引き続きお知らせいたします。

6月中旬から学年ごとに育てている作物の収穫が始まりました。自分たちで育てたものを食べることはとてもうれしいようです。

今年はきゅうりやトマトを例年より多く植えたため収穫量が多く、いろいろな学年の子どもたちにも食べてもらうことができます。

私も朝一番に農園に行くのが楽しみの一つになりました。

夏休みまであと1週間ほどですが、その前に子どもたちと一緒に農園での活動を楽しみたいものです。

先日は、6年生と兄弟学年の2年生と一緒にじゃがいも掘りをしました。力も手の大きさも違うペアが協力し、汗を流しながら活動している姿はとてもいいものでした。